者は田中忠一郎、河久保常吉、金子六藏の三名なりと

○住ノ江丸の入港　（廣島十月卅一日午後特派員發）馬屋原少佐以下を乘せたる住ノ江丸は今夜宇品へ入港の筈

隊を廢止し親衞、鎭衞の二種を編成す京城にあるを親衞とし地方にあるを鎭衞とす

○親衞隊長の任命

京城十月卅一日
前日本駐剳朝鮮公使
只今當地に歸着せん

時事新報

南征軍の勞を謝す

賊將劉永福は脫走し賊の巢窟たりし臺南は我軍の占領に歸して此に臺灣鎭定の功を奏したるは誠に目出度き次第にして深く將士の勞を謝せざる可らず支那征伐の大戰爭終りし後にして而かも內亂とも云ふ可き戰なりしが故に征臺軍の進退は人の視聽を惹くこと深からざりしと雖も百四十餘日間、各地轉戰の困難辛苦は實に名狀す可からざるものありしが如し鼠賊何程の事をか爲さん一擧にして事定まる可しとは我も人も豫想せし所なるに賊は案外頑强にして容易に降伏の色を示さず進めば散じ、散じては又集り或は家に據り或は叢林に潛み出沒自在、巧に地の利を利用して恰も人を嘲弄するが如く我をして奔命に疲れしめたるのみならず普通の人民婦女子までも抵抗を試み詐術を弄し力叶はずと見れば順民と稱して哀を乞ひ我人數少きときは刀を揮ひ銃を發して山河草木皆敵と爲る我軍の其始末に困却したるも謂れなきに非ず兵民の頑强斯くの如くなるが上に天然の敵亦暴威を逞うし炎天熱地燬くが如くにして進むに路なく飲むに水なし虎列剌、マラリヤ、脚氣等の惡疫は慓悍なる賊兵と力を併せて日に幾百の戰士を斃し近衞師團長北白川宮殿下さへも遂に病に犯され給ひ海上にはムンスーンと云へる定期風吹き荒みて如何にしても賊の巢窟に近くを容さず恰も人爲天然總ての敵を前後左右に引受けたるの姿にして其辛苦の非常なりしは死者の非常なりしに依ても明白にして我軍の花とも稱す可き近衞の如き最初渡臺したる者は旣に其半を失ひ全體の病者負傷者死亡者の割合は征淸役に倍したりと云ふ斯る間に處して少しも屈する色なく屍を踏みては進み〱て遂に賊の巢窟を屠りしは誠に勇ましき至りにして日本武士の本色を顯はしたるものと云ふ可し或は一島嶼の內亂を鎭定するに精英數萬の兵を以てして殆んど半歲を費したるは少しく不活潑なるやの感を抱く者もあらんなれども世界三幅對の一とも稱す可きマダガスカルの遠征は昨年より始めて未だ目的を達せずキューバの內亂も亦未だ鎭定の功を奏せざるに我征臺軍先づ凱歌を奏す事情異なる所もある可しと雖も世界に對して遜色あることなし其本國に凱旋するも近きにあらん國民は盛に歡迎して以て深く其勞を慰せんこと我輩の今より希望する所なり

雜報

○臺灣通信

十月十六日於嘉義城　卷水生特報

●市●民●の●安●堵●

嘉義城の市民は聞きしに違はず日本兵に逢へば必ず殺さるゝものと思ひて恐怖一方ならず出來得る限りは負擔を輕くして町に伏し山に寢ね一家泣明して此後は如何にせんと思案にたま〱逃げ度を失ひ城內に蟄り居たるものゝ分捕品など買ひ受けて却て利益を得たるのみか人の棄てたる品を拾ひ集めて高價に賣付け乞食同樣の貧民が臺灣銀貨は重くて持運びに不便なれば銀貨でなくては取らぬと贅澤を抜かす有樣となりたるを聞き何れも安堵して家に歸り商店を開く者多し民政支部よりは龍岡書記官外數名出張して目下撫民に盡力中なり

●前●衞●と●右●側●枝●隊●の●進●行●

近衞師團は嘉義城占領の當日左の如き命令を出せり

一、敵情に就て新報を得ず

二、右側枝隊は明日當地出發鹽水港附近に向て前進し明後十一日迄に該地に到着し同日頃より布袋嘴港附近に上陸すべき混成第四旅團の上陸を掩護すべし

三、前衞は明日當地出發茄冬仔に向て前進し明後十一日迄に該地に到着し臺南方向の敵情並に道路の情況を偵察すべし步兵第三聯隊本部並に第二大隊騎兵第二中隊砲兵第一大隊（第一中隊欠）工兵半小隊は本日水堀頭附近に在り右側は連絡するを要す

四、本隊は當分の內嘉義に滯在す每日午後三時師團司令部に於て會報を爲す
本隊の給與は明日より倉庫給與とす時間分配場所は師團本部の左側に在り

五、右側枝隊前衞の爲には明日一日分の糧秣を遞送す爾後力めて當地より補給すべき豫定なれども各司令官は專ら土地の物資に依て給與するを要す

六、師團司令部は嘉義城內舊縣廳に在り

近衞師團長　能久親王

軍隊區分

右側枝隊

司令官步兵中佐須永武義、步兵第二聯隊第一大隊、步兵第一聯隊第一大隊（二個中隊欠）、騎兵一小隊、砲兵第一中隊、工兵一小隊

前衞

司令官陸軍少將坂井重季、步兵第三聯隊本部幷に第二大隊、騎兵第二中隊、砲兵第一大隊（第一中隊欠）、第一機關砲隊、工兵半小隊、衞生隊半部

本隊

步兵第一旅團司令部、步兵第一聯隊（第一大隊本部並に二個中隊欠）、步兵第四聯隊（第二大隊本部並二個中隊欠）、騎兵大隊本部並に第二大隊（一小隊半欠）、第二機關砲隊並に合併第三隊、衞生隊半部、小架橋縱列

右の如くにして目下前衞は下茄冬仔に進み右側枝隊は鹽水港に在り混成第四旅團も亦鹽水港に在りて土匪掃攘中なりといふ

●劉●の●使●者●（英人）●と●の●問●答●

劉將軍は臺南に在て絕對絕命、此の世の榮華も旣に旦夕に迫れりとは知るや識らずや彰化旣に陷り嘉義亦我軍の占領する所となるを知ると雖も種々の虛報に誤られて臺灣兵の如何に弱きかを識らざるならん臺灣兵日に窘迫すと雖も倭奴も亦窘蹙我に百倍し最早糧食に窮して自ら退却する頃ならんと傲然として昔年の夢未だ醒めず然れども外國人の勸誘する所となりてか十二日の夕刻安平に居住せる英國人二名をして書を齎し來らしむ其書を視るに到底受理すべからざるを以て師團本部にては使者を一泊せしめ其理由を諭して歸らしむ其書辭禮なきは論ずるに足らず而して英人と參謀長との問答は左の如くなりしと

問　足下は何の爲に當地に來りしか

答　劉永福の書を貴軍門の將軍に呈するの使者として來れり

問　其書を領せん

是に於て使者たる英人は書を參謀長に呈す依て參謀長は師團長の命を奉じ左の如く述ふ

書中に大淸國云々軍門劉永福と云ひ和を議する云々と謂ふも我軍は旣に日本國皇帝陛下と大淸國皇帝との條約に依り臺灣は我日本の領土となれり我軍は目下領土の草賊を討滅しつゝあり淸國官吏と自稱する劉なるものを認めず唯臺灣草賊の頭なる劉永福なるものあるを知るのみ故に右草賊の頭なる劉永福自から軍門に降を乞へば卽ち之を許すべし足下若し劉の爲に使するの親切あらば爲に劉に向て能く此旨を通すべし

答　予は唯書を貴軍門に致すの使たるに過ぎず予は固より貴軍門に於て此書を受領せられざるを知る然れども使者の本分として一應は之を貴軍門に致すのみ貴意の次第は明日臺南に歸りて劉に致すべし

問　此書予は當師團長に呈するものと認む然れども當師團より尙ほ高等の司令部あり故に更に其所に致さんとするの意あらば予は足下を護衞せしめて更に其所に送るべし足下以て如何となす

答　予は明日直ちに臺南に還るべし

問答の要は斯の如し而して其の來書（此書の要旨は間利子特派員よりの報道に依り旣に去月二十六日の本紙に揭載しれきたれども其原文なるを以て割愛せず通信の儘左に揭ぐる事となしぬ）に曰く

敬啓者七月初四日接奉
樺山君來書和議謂本帮辦肯退兵內渡
大日本皇帝當時以將禮送歸內地今本帮辦已顧謝和經
於七月初六日由廈轉達
樺山君言歸於好時不知北書能否達到八月二十日
復寄由
大英國領事府胡力穡親去澎湖淡水分投二緘無非爲息
事安民之計所以自七月上書與
樺山君後即抽內地帶來各勇丁安置臺丼未有自行
與兵攻擊所有彰雲爭戰前事皆臺灣士人因受我
大淸國皇帝深仁厚澤數百餘年不忍將此地歸諸貴國用
是與戰然雖士兵本帮辦亦旣由彰化飄回雲林由雲
林鬪回嘉義矣想必
執事不知底蘊猶與相戰不無失信本帮辦待人以信
故待七月間
樺山君來書即將兵勇撤退今圍攻嘉義城他軌諸萬
國公法豈爲講信修時之道倘祈兩國停兵而伸和議
如和議已定本帮辦當即帶集齊將士將全臺讓與貴
國決不食言耑肅依達即候
示復不宜
大淸國欽差帮辦臺灣防務記名提督軍門署福建
臺灣總鎭守府劉永福上書八月二十三日

劉も亦耄せり餘命を惜みて我軍門に來り果して能く膝を屈するや否やは知らざれども不日臺南に相見んこと予輩の指を屈して待つ所なり

●嘉●義●の●氣●候●

は彰化よりも尙ほ暖を覺ゆ土地廣濶爽快露稀に朝夕褐を要すと雖も外氣至て人體に宜し稻株は旣に穗揃ひとなりたるもあり未だ孕まざるもありて恰も日本內地に於ける玉蘭發前後の景色に左も似たり嘉義縣も亦將來有望の地なるべし

○外國馬種の摘要

馬匹調查委員會は諮問案の第三項種馬の撰定に關し討議の末內國種、雜種中優等の馬匹を種馬とする事又アラビヤ種、英國の純血種及び米國のトロッター種を便宜輸入して種馬とする事を議決して農商務大臣に答申したる由なるが農商務省より調查委員に示したる外國種馬の摘要書は左の如くなりと云ふ

一、亞剌比亞種
此馬種の良駿なるは古來人の熟知する所なり性質骨格兩ながら善良にして血統純精最も遺傳の力に富み現時歐米諸國に於ける完美なる馬匹體格の模範たり而して各國に於ける改良馬種の祖先は殆ど此種の血系に出でざるものなし
身幹寸尺四尺七八寸乃至五尺二三寸

一、英國純血種
此馬種は改良種中の最古種にして骨格堅美性質敏捷にして血統純精なり其能力の捌きは良で其先
祖たる亞剌比亞
種改良に有効な
明諸國比々此種
身幹寸尺約五尺

一、英國ハンタア
此馬種は英國純
たる雜種にして
馬種は英國に於
供せらる
身幹寸尺五尺五

一、英國クライデ
此種は蘇格蘭に
なり即ち體量頗
得能く重貨の輓
身幹寸尺約五尺

一、獨國トラケネ
此馬種は英國純
方種の三種血統
時獨國の軍馬わ
身幹寸尺五尺四

一、佛アングロノ
佛國ノルマンデ
配合より產しわ
身幹寸尺五尺六

一、佛ペルショ
佛國北部のペル
配し數代の養成
匹なり此馬種に
毛色は蘆毛の〆
曳に適せり
身幹寸尺五尺二

一、米國トマッダ
此馬種は其祖先
の馬種を配合し
車に駕し細蹀の
例へば千八百
て五十八分二
云ふ

一、白耳義種
白耳義は地產の
ものにして重輓
種及アルデンヌ
乙は輕貨車に適

一、魯國オルロー
此馬種は和蘭國
配合して得たる
り身幹寸尺五尺

一、胡索種ドン種
胡索種馬は靼
韃靼馬の體格を
く眼出し四肢骸
健觀にして忍耐
ず織に雪中の牧
す魯國に有名な

○慶應義塾英語
新講堂に於て秋季大
郞氏を名譽會長とし
なる塾生の集りて組
論會を開き又每月
若くは英語に熟練
演說を習ふ仕組な
談話應對共に皆英語
樂部は未だ創立の日
なるを感ずる時節
會には名譽部員及び
る由此種の俱樂部の

○足なきもの
車は多くは脚に
國にては足なきもの